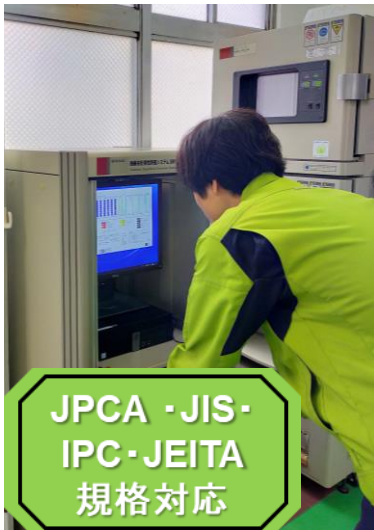


マイグレーション試験/耐 CAF 性試験

マイグレーション試験(高温高湿バイアス試験)は、プリント配線板に対し、高温高湿環境下で連続的な電圧印加を行い、絶縁材料の劣化やそれに伴うイオンマイグレーション現象の発生を確認することで、絶縁信頼性の評価を行います。昨今の電気自動車や自動運転システムの開発の普及に伴い配線のフラインパターン化が進み、マイグレーションに関して厳しい品質基準が要求されています。

耐CAF性試験は、基板内のガラス繊維などに沿って発生するCAF(Conductive Anodic Filaments)と呼ばれる現象の発生確認を行います。特に多層基板のスルーホール間でみられる現象で、基板の多層化、複雑化、配線の高密度化などに伴い、近年では耐CAF性試験の要求が増えています。

ケミトックスでは、JPCA-ET01~07、JIS Z3197、IPC-TM-650、JEITA ED-4701をはじめとする各種規格に対応しています。



JPCA・JIS・
IPC・JEITA
規格対応

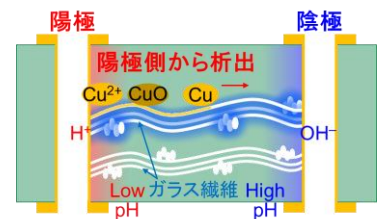
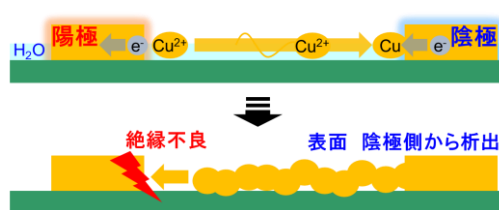


国内最大級の ch 保有数

ケミトックスでは、最大 3,000 V まで電圧印加可能なマイグレーションテストを保有しております。マイグレーションテストは、微小電流の測定が常時可能で、絶縁劣化挙動も詳細にモニタすることができます。弊社の保有 ch 数は 700ch 以上と国内でもトップクラスの試験能力を有しております。試験目的に合わせて幅広い印加電圧を選択可能で、同時に多数のサンプルで試験実施できます。

ケミトックス所有マイグレーションテスト ch 数

印加電圧 範囲	3~100 V	3~250 V	3~1,000 V	1,000~ 3,000 V
保有 ch 数	64ch	512ch	160ch	8ch



マイグレーション(左)、CAF(右)発生イメージ

恒温恒湿槽完備

この度、新たに恒温恒湿槽を導入し、保有台数が合計 13 台となりました。マイグレーション試験では、試験目的に応じて様々な温湿度環境での測定が要求されるため、高精度な恒温恒湿槽の使用が必須となります。また、温湿度が要求される他の試験にも使用可能です。



恒温恒湿槽(13 台)

【仕様】

内寸:

W500 × H350 × D350 mm

温度: -40~150℃

湿度: 20~98%RH

お問い合わせ先

Chemitox
株式会社ケミトックス

〒145-0064 東京都大田区上池台 1-14-18 東京本社第1ビル
TEL:03-3727-7111 FAX:03-3728-1710

担当: 須藤 正喜

Email: ma-sudo@chemitox.co.jp

近藤 紘昌

Email: hi-kondo@chemitox.co.jp

2024-02